

高円宮賜杯第46回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント  
山形県予選大会実施要項

1. 主催 山形県野球連盟
2. 主管 鶴岡地区野球連盟
3. 後援 山形県・(公財)山形県スポーツ協会  
鶴岡市・NPO法人鶴岡市スポーツ協会  
山形県野球スポーツ少年団協議会、ナガセケンコー株式会社
4. 特別協賛 日本マクドナルド株式会社
5. 会期 2026年6月20日(土)～21日(日) 雨天順延
6. 会場 W a T a R a I 鶴岡ドリームスタジアム  
鶴岡市小真木原町2番地1号 TEL:0235-25-8133
7. 日程 6月20日(土) 6月21日(日)

開会式	8時30分	準決勝第一試合	9時00分
第一試合	9時00分	準決勝第二試合	11時00分
第二試合	11時00分	三位決定戦	13時00分
第三試合	13時00分	決勝戦	15時00分
第四試合	15時00分		
8. 参加資格 (1) 全日本軟式野球連盟規程第3章第6条第3項(2)学童部に規定する小学生で編成されたクラブチームでなければならない。  
(2) 各地区予選会で優勝し、当該地区連盟会長の推薦を受けたチーム、および地元地区連盟から当該地区連盟会長の推薦を受けたチームであること。
9. 参加チーム 山形2、新庄1、米沢1、鶴岡1、酒田1の各地区代表、および開催地(鶴岡地区)推薦1チーム、前年度開催地(米沢地区)推薦1チーム 計8チーム
10. 適用規則 2026年公認野球規則及び(公財)全日本軟式野球連盟大会規則並びに大会特別規則を適用する。
11. 試合方法 (1) トーナメント方式とし全試合6回戦とする。試合時間が1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって勝敗を決する。  
(2) 全試合4回以降10点差、5回以降7点差のコールドゲームを適用する。  
(3) 6回を完了し同点の場合、または、試合開始後1時間30分を経過して同点の場合は、いずれもタイブレーク方式により勝敗を決する。  
(4) 選手の健康を考慮し、投手の投球制限を設ける。1試合かつ1日の投球数は70球以内とする。4年生以下は60球以内とする。  
(5) 第3位決定戦を行う(5回戦、1時間、3回7点差コールドとする)。
12. 使用球 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号を使用する。
13. 参加申込 参加申込みは試用期間(過渡期)のため、下記2つの申込みとする。  
①出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、**6月11日(木)までに必着**するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。  
鶴岡地区野球連盟 事務局長 高橋 修也 tsuruokabaseball@gmail.com

②各**地区野球連盟事務局は、代表チームが決定したら速やかに県連事務局へ報告する。報告様式は、山形県予選会代表チーム報告様式を用いる。**各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。**申込締切日は6月11日(木)とする。**

14. 参加料 **20,000円とする。試合球3個(12の大会使用球参照)を持参すること。**

15. 募金協力 **ドナルド・マクドナルドハウス財団への募金(スマイルソックス代金)についても参加料と一緒にお願いいたします。**

16. 組合抽選 この大会の組合せは、2026年2月21日県連評議員会の席上において、厳正に抽選をして決定したものであり、その結果は別紙のとおりである。

17. 監督主将会議 行わない。

18. 開会式 午前8時30分より行う。全チーム参加願います。

19. スポーツ安全傷害保険の加入について

スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。

未加入チームは出場できないこととする。

20. 表彰 第1位 賞状、優勝旗(持ち回り)、優勝杯(持ち回り)、優勝盾、ペナント  
優勝メダルを授与する。

第2位 賞状、準優勝盾、準優勝メダルを授与する。

第3位 賞状を授与する。

(1) 優勝チームには、8月7日(金)～13日(日)愛媛県松山市他で開催される全国大会の山形県代表チームとして出場権を与える。

(2) 準優勝チームには、7月24日(金)～28日(火)和歌山県高野町で開催される第31回高野山旗全国学童軟式野球大会の山形県代表チームとして出場権を与える。

(3) 第3位チームには、7月18日(土)～19日(日)山形県米沢で開催される第30回東北学童軟式野球大会の山形県代表チームとして出場権を与える。

(4) 第4位チームには、7月18日(土)～19日(日)山形県米沢で開催される第30回東北学童軟式野球大会の開催地代表チームとして出場権を与える。

21. その他

(1) 参加申込書中の「守備」欄は、投手、捕手、内野手、外野手を記入のこと。また、守備位置にかかわらず、主将以下は背番号の若い順で記載のこと。参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は原則認めない。

(2) ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手10名以上25名以内と、チーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。ユニフォームの左袖には、都道府県名を入れること。

**熱中症対策として、保護者2名を必ずベンチに入れること。**

(3) チーム責任者及び監督およびコーチは18歳以上とし、チームの引率、応援団等を含め、すべての責任を持つこと。

- (4) 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、初日の第1試合で対戦するチームは開会式があることから試合開始予定時刻の45分前とする。第2試合以降は前の試合の3回終了時に監督または主将が大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、球審立会いのもと攻守を決定する。
- 2日目の第1試合は試合開始予定時刻の30分前とし、第2試合は前の試合の3回終了時とする。なお決勝戦は、第2試合終了の20分後とする。
- (5) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、連盟公認のものを使用しなければならない。
- (6) 捕手用のマスク（スロートガード付）は、SGマークのついた連盟公認のものを使用しなければならない。2025年から義務付けされている。
- (7) 捕手は、連盟公認のレガース・プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用しなければならない。  
捕手のヘルメットは、マスクと一体になっているものの使用は禁止とする。控えの捕手も同様とする。
- (8) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたものとする。
- (9) 学童部では、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を2025年より禁止する。一般用バットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限は行わない。
- (10) 金属製スパイクの使用を禁ずる。
- (11) 関節の障害防止のため、まだ骨の未熟な学童部の投手は変化球を禁止する。投球が変化球かどうかは球審の判断による。変化球を投げた場合はペナルティを科すこととする。ペナルティの詳細は、競技者必携P50のとおりとする。
- (12) 本大会に参加する際、マイナンバーカード等、これに準ずるものを持参する。
- (13) ボールパーソン及びグラウンド整備は、各チームでお願いします。
- (14) 連盟が主催する大会においては、指名打者ルールを使用することができる。  
ただし、二刀流選手を採用しない。（競技者必携P55～57を参照のこと）
- (15) 前年度優勝チーム（鶴岡地区）の地区代表は、優勝旗・優勝杯を持参のこと。
- (16) 原則として雨による順延もあるので、学校との連絡等を密にすること。
- (17) 開会式では、スマイルソックスを履き、代表者はチームプラカードを手持ちすること。なお、チームプラカードは各チームで準備すること。
- (18) 開会式での選手宣誓は、開催地区の第一代表チームの主将とする。